

たかおか

特集

「地域振興プラン」の推進に向けて—
常任委員会が再編成&始動

経営相談 税務・労務Q&A

税務●遠隔地に居住する両親は扶養控除の対象となるか
労務●人事・賃金制度を見直す場合の留意点について

談話室

●呼吸が変われば身体も変わる

フレッシュさん登場

佐島 雄大さん [クラシエ製薬(株)高岡工場]

メンバーズニュース

●悟空こどもスポーツ教室 ●株ASITAS



「地域振興プラン」の
推進に向けて―

常任委員会が
再編成&始動

高岡商工会議所は、当所の行動計画である「地域振興プラン」において、地域産業の活性化や魅力あるまちづくりのため5つの戦略を掲げています。この戦略に基づいた事業方針を推進するため、今年度6つの常任委員会を5つに再編成し、第一回目となる委員会を開催しました。

各委員会は今後、「地域振興プラン」の推進に向けて協議し、皆様からご意見をいただきながら具体的な事業に取り組んで参りますので、当所事業活動へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

委員会の紹介・委員長の活動抱負

企業経営改革常任委員会



11/15(金)
開催

【主な所管事項】

- ①働き方改革の推進に関する事項
- ②健康経営の普及・推進に関する事項
- ③人材確保に関する事項
- ④移住・U I J ターンの強化に関する事項
- ⑤経営革新（イノベーション）に関する事項
- ⑥創業、事業承継に関する事項
- ⑦中小企業税制に関する事項

委員長

松村 浩史（株松村精型 代表取締役）

地域の事業者は、地域における経済・雇用を支える為に重要な存在ではありますが、取り巻く環境といえば、過疎化、高齢化、大手量販店等の郊外展開、海外との競争の激化といった社会構造の変化に直面しており、売上や事業者数の減少・経営層の高齢化等の様々な課題を抱えています。加えて、人口の流出が顕著な当地域においては、市場そのものが縮小している為、思うような売上確保も困難であり、新たな商品・サービスの開発や販路開拓も進まず、如何にして現状を維持していくかが、目標となっている事業所もあると思われます。

この様な現状の中で当委員会においては、地域の企業が抱える経営課題に対して、問題意識を持つとともに、委員各位が企業経営の中で、先進事例に学び、独自の改革を行い、働き方改革や健康経営を進め、企業ブランド力を高められるよう、問題や課題を深堀していきたいと思ひます。

地域産業活性化常任委員会



11/19(火)
開催

【主な所管事項】

- ①産業振興に関する事項
- ②IoT, AI等の活用に関する事項
- ③海外進出、海外展開に関する事項
- ④販路開拓、ビジネスマッチングに関する事項
- ⑤産学官連携に関する事項
- ⑥呉西圏域連携による次世代産業の創出に関する事項
- ⑦工芸都市高岡の産地継承に関する事項
- ⑧伏木外港の整備及び伏木富山港の利用促進に関する事項

委員長

能作 克治（株能作 代表取締役社長）

近年の経済環境は、既存市場の成熟化に加え人口減少・少子高齢の進展による市場の縮小やIT等の普及による経済のグローバル化、消費者の購買意識・ニーズの変化等様々な課題があり、地域の産業にも大きな影響を及ぼしています。

この様な現状の中で、地域産業が厳しい経営環境を克服し、活路を見出すには、新技術・新商品の開発や販路の開拓、新分野への進出等の事業展開を行うことが必要になります。

当委員会においては、IoTやAIによる生産性の向上や海外展開等による市場の獲得、ビジネスマッチングによる販路の開拓や伝統技術の継承・発信等産業振興に関する視察や研修会を通して、企業及び地域産業の活性化について考える機会としていきたいと思ひます。

まちづくり常任委員会



11/14(木)
開催

【主な所管事項】

- ①都市ビジョンに関する事項
- ②商業振興に関する事項
- ③中心市街地の活性化に関する事項
- ④市街地整備・リノベーションまちづくりに関する事項
- ⑤山町筋・金屋町における創造エリアの形成に関する事項
- ⑥クリエイティブ産業の活性化に関する事項
- ⑦北陸新幹線及び地域交通に関する事項

委員長

宇波 真一郎（あさひ City Inn Hotel 代表）

高岡商工会議所が2017年に策定した「地域振興プラン」の課題解決の1つとして掲げている戦略4「クリエイティブ産業と中心市街地の相乗的発展の推進」を具現化するに当たり、「民間の創意工夫・行政支援で進める持続可能なまちづくり」を前提に「住んで良かった」、「住み続けたい」、そして「移り住みたい」と評価されるまちづくりを目指します。そのために、様々な業種や立場の方からまちづくりの課題について、各々の目線から意見をお伺いしたいです。そして、高岡の経済団体の立場として、行政・議会・地域・大学・市民・関係団体との連携を図り、協働する機会を積極的に設け、リーダーシップを持って推進を図っていききたいと思います。

観光交流常任委員会



11/15(金)
開催

【主な所管事項】

- ①観光振興に関する事項
- ②産業観光の推進に関する事項
- ③高岡のブランド化に関する事項
- ④藤子・F・不二雄のふるさとづくり事業に関する事項
- ⑤MICE 招聘活動に関する事項
- ⑥広域都市連携に関する事項
- ⑦商工会議所等交流連携に関する事項

委員長

吉田 雅弘

(株)ホテルニューオータニ高岡 代表取締役社長

東京一極集中や人口減少による地方経済の縮小が余儀なくされている今、観光振興は裾野の広い産業で経済波及効果も高く、まさに地域経済活性化の原動力であり、地方創生の核と言えます。ここ数年の高岡市の観光客入込数は着実に増加していますが、域内経済を維持・拡大するためには観光客入込数では無く、消費金額増大への取り組みが必要だと感じております。

当委員会では、観光消費額と強い相関関係のある「滞在時間」に着目したテーマで、飛越能の玄関口として広域的な連携に基づき、歴史文化遺産や産業観光、街並みなど豊富な観光資源を最大限に活かす取り組みによって、高岡にしかないオンリーワンの魅力を磨き上げながら地域経済に繋げるリード役となっていきたいと考えております。

総務・組織運営常任委員会



11/18(月)
開催

【主な所管事項】

- ①地域振興プランの事業推進に関する事項
- ②商工会議所の政策提言に関する事項
- ③会議所組織の体制強化に関する事項
- ④財政基盤の強化に関する事項
- ⑤会員増強に関する事項
- ⑥会員サービスの充実に関する事項
- ⑦調査広報活動に関する事項
- ⑧委員会の総括及び議員懇談会等に関する事項
- ⑨国際経済交流に関する事項

委員長

松嶋 浩二（松島工業(株) 代表取締役専務）

高岡商工会議所を構成するのは会員事業所であり、会員事業所があつての商工会議所です。そのような中、高岡市内の事業所数が減少しており、会員数の維持、拡大は喫緊の課題です。そのためには、事業者にとって入会したくなるような事業、そして既に入会いただいている会員には入会メリットを感じる会員サービスの充実が必要です。参加がしやすい企画、交流が深まる企画、そして経営力の向上につながる企画を委員の皆さんと企画したいと思います。また、組織の強化として、積極的な委員会や部会活動の実施、評議員や各種団体との連携強化も図りたいと考えております。現在でも研修や視察等を開催しておりますが、会員ニーズを把握しながら時代に合った企画を提案していききたいと思います。

P H O T O

L I B R A R Y



11.2 ~ 24

高岡古城公園 お濠めぐり遊覧船 秋季運航

歴史ある古城公園の景色を紅葉の中ゆっくりと楽しむ

11月2日から24日までの間、高岡古城公園お濠めぐり遊覧船の「利長号」と「利常号」が秋季運航を行い、期間中大勢の乗客で賑わった。2009年から毎年運航している遊覧船は、高岡古城公園池之端の乗船場から中ノ島・朝陽橋・動物園下の内濠・池之端濠の1.5キロのコースを約25分かけて巡る。乗船客は、日々紅葉の色付きが深まる秋の古城公園の風景を楽しんだ。次年度も春と秋の運航を予定している。



10.31

事業承継支援連携協定キックオフ 事業承継セミナー

円滑な事業承継のためのノウハウを学ぶ

現経営者や後継候補者を対象とした事業承継セミナーを開催し、24社27名が参加した。セミナーでは、税理士法人中村税務みらい経営 所長 中村総一郎氏から事業承継のポイントである「モノ(自社株式)」と「心(理念、考え方)」の承継について、(有)モメンタムファクトリー・Orii 代表取締役 折井宏司氏から事業承継を通じての多角化戦略についてお話いただき、参加者らは事業承継のポイントを学んだ。講演後には、個別相談会も行った。



11.13

まちゼミ事業 販促力強化セミナー & 事業説明会を開催

「集客に困らないイベントの作り方」をテーマに開催

お店の特徴・店主のこだわりや人柄を知ってもらい、お客様と信頼関係を築くことを目的とする「まちゼミ」の開催に向け、まちゼミ参加予定事業所等を対象に販促力強化セミナーおよび事業説明会を開催し、15名が参加した。セミナーでは、singbird 代表 大窪順子氏から効果的な集客方法やSNS 運用等、実践的なマーケティング手法についてお話いただき、参加者らはまちゼミ開催をイメージしながら時折質問を交え、講座作りのポイントを学んだ。



11.3

全4回の創業講座が開講

創業に必要な基礎知識を身に付ける

創業を目指す方や開業して間もない方、新事業分野進出を考えている事業者の方などを対象に、持続可能な事業展開に欠かすことのできない経営戦略やマーケティング、金融・税務の基礎知識及び創業の成功ポイントを学ぶ創業講座を開講し、20名が参加した。参加者らは全4回のカリキュラムの中で、ITツールを使った販路開拓や従業員確保、資金調達や補助金に欠かせない事業計画書の作成などを通じて創業イメージの具体化に取り組む。

Pickup!



11.20 ~ 22

家具からインテリア、小物、雑貨まで幅広い商材をライフスタイルという括りで整理し、暮らしの空間を総合的に提案する見本市「IFFT/インテリアライフスタイルリビング」が東京ビッグサイトで開催され、日本商工会議所ブースに当所からも伝統産業部会の5社が参加し、伝統工芸品を展示した。国内外から多数のバイヤーが集まる中、参加事業者は自社商品をPRし販路開拓に繋げた。来場者数は3日間で約16,000人に及んだ。

「IFFT/インテリアライフスタイルリビング」に出展
高岡の伝統工芸品のPR・販路開拓に取り組み



11.26

当所女性会が 一宮商工会議所女性会と友好交流

一宮商工会議所女性会との友好提携10周年を迎える
高岡商工会議所女性会が、友好提携を結んでいる一宮商工会議所女性会との交流会と市内視察のため一宮市を訪れた。交流事業は今年で10周年を迎え、記念イベントとして友好提携継続宣言書を交わし、相互の交流を通じて更なる親交を深めることを宣言した。一宮市内の視察では、妙興報恩禅寺や一宮市博物館を訪れたほか、喫茶店「グルメ有楽」で一宮モーニングを楽しみながら会員同士の親睦を深めた。



11.17

高岡食のブランド推進実行委員会が 「2019たかおか食彩フェア」に出店

高岡昆布百選を広くPRし、販売拡大に取り組む
地域の特産品やご当地グルメが揃う「2019たかおか食彩フェア」が高岡テクノドームで開催され、「高岡昆布百選」を開発普及する高岡食のブランド推進実行委員会は、事業参加企業自慢の商品販売を行った。販売は昆布料理の定番であるとろろ昆布の「昆布おにぎり」や昆布弁当、昆布スイーツから5種160点。昆布弁当を中心に販売が進み、来場者からは「美味しそう」「他の昆布商品も食べてみたい」との声が聞かれた。

P H O T O
L I B R A R Y